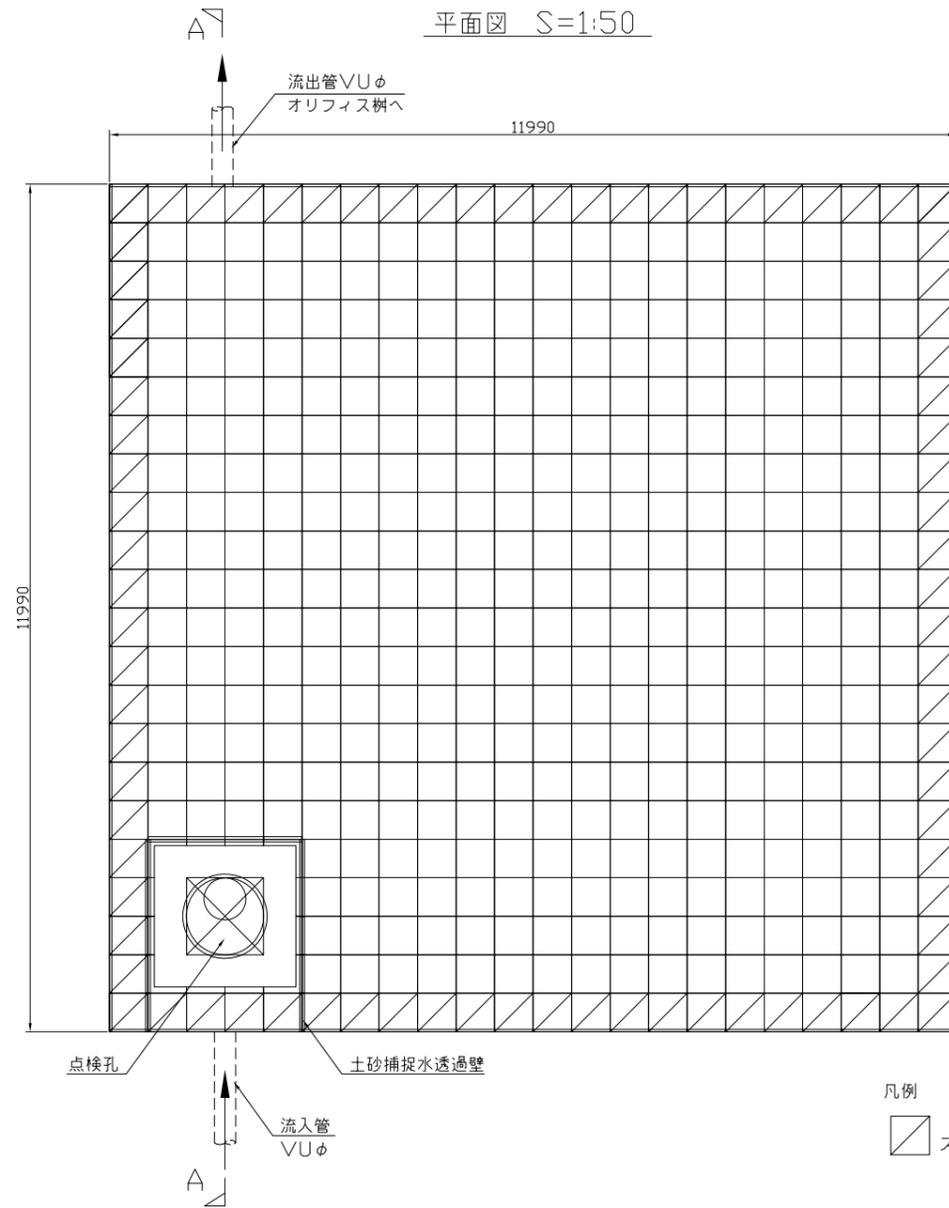


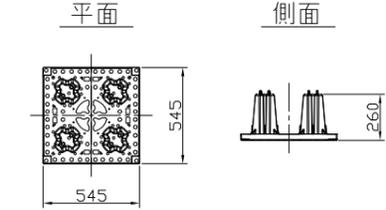
雨水貯留施設構造図（例）
（調整池）



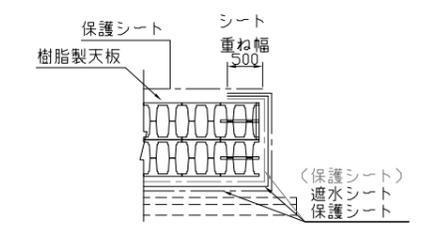
平面図 S=1:50

A-A断面図 S=1:50

樹脂製ブロック製品図 (AE-1型) S=1:20

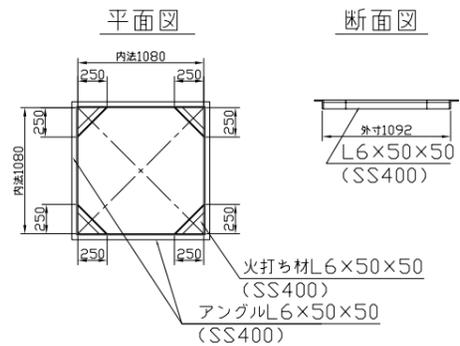


シート工詳細図



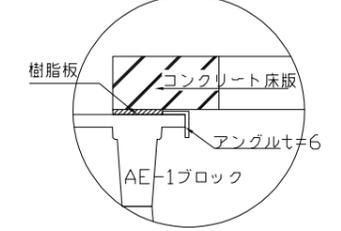
凡例
 - - - 保護シート（長繊維不織布） $t=4.0$
 ——— 遮水シート（熱融着型塩ビ系シート） $t=1.5$

点検孔開口補強材 S=1:30



注、点検孔1箇所に付Ⅲ型2個Ⅳ型1個使用する。
 鉄部は、溶融亜鉛メッキ処理とする。

樹脂板敷込み廻り



有効貯留量

項目	幅(W) (m)	長さ(L) (m)	面積 (m^2)	高さ (m)	空隙率 (%)	有効貯留量 (m^3)
調整池	11.990	11.990	143.760	1.040	93	139.04

注意

1. 流入管・流出管の管径は仮定であり、雨水排水計画に従い変更すること。
2. 地下水位は、槽底面高よりも低いものと仮定した。
 地下水位が、槽底面高よりも高い場合は、浮上する危険があるので別途、浮力対策
 コンクリート等の浮力対策検討が必要となる。
3. 槽底面より地下水位が高い場合、遮水シートの内側にも保護シートを敷設する。

